

大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2018年度)

専門分野区分	パソコン活用	科目名	アクセス I				科目コード	T1590B1			
配当期	前期・後期・通年	授業実施形態	通常・集中				単位数	2単位			
担当教員名	武田 春美	履修グループ	2I(BI/BO)				授業方法	演習			
実務経験の内容	資材メーカーのシステムエンジニアとして、5年間にわたり在庫管理システムの開発・運用業務や、ITコンサルタント企業で顧客の販売管理システムの開発・運用業務を6年間行った経験を生かし、アプリケーション開発に必要な環境構築方法、プログラム開発技法について実践的に授業展開を行う。										
学習一般目標	Access は、やさしい操作性と優れた機能をもつ、データベースソフトウェアである。 Excel やWord と同様、Microsoft Office 製品群の一つである。 授業では、データベースの基礎知識と Access の基本操作の習得を目的とする。										
授業の概要および学習上の助言	毎回教科書に従い、データベースの作成を説明を受けながら実習する。 次に、応用としてプリント課題を出題するので、教科書を参考にしながら、各自で課題を作成していく。 実習しながら、アクセスの基本操作と周辺知識を習得してほしい。										
教科書および参考書	教科書：よくわかる Microsoft Office Access2016 基礎										
履修に必要な予備知識や技能	Excel の四則演算、基本的な関数の知識										
使用機器	パソコン機器										
使用ソフト	Access2016										
学習到達目標	学部DP(番号表記)	学生が達成すべき行動目標									
	1.	データベースや Access の基礎知識を理解し、操作できる。									
	1・4	Access の基本オブジェクト (テーブル、クエリ、フォーム、レポート) を作成できる。									
	4	基本オブジェクトを利用した基本的なデータベースを作成できる。									
	4	実習と課題作成に意欲をもって取り組みことができる。									
達成度評価	評価方法	試験	クイズ小テスト	レポート	成果発表 (口頭・実技)	作品	ポート フォリオ	その他	合計		
	総合評価割合					80		20	100		
	学部 D P	1.知識・理解					20		20	40	
		2.思考・判断									
		3.態度									
		4.技能・表現					60			60	
5.関心・意欲											
評価の要点	評価方法	評価の実施方法と注意点									
	試験										
	クイズ小テスト										
	レポート										
	成果発表(口頭・実技)										
	作品	テキスト演習とプリント課題の提出。(毎回)									
	ポートフォリオ										
その他	授業への出席、取組みなどを含め総合的に判断する。										

授業明細表

回数 日付	学習内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)
第1週 4/8 4/9	Accessの基礎知識、データベースの概要の理解 テーブルが作成できる	実習	
第2週 4/15/ 4/16	外部データのインポートができる リレーションシップの作成ができる	実習	
第3週 4/22 4/23	クエリによるデータの加工ができる	実習	
第4週 5/7 5/13	復習①：クエリの作成	実習	
第5週 5/14 5/20	フォームの作成ができる (入力・表示画面の作成)	実習	
第6週 5/21 5/27	クエリによるデータの抽出と集計ができる	実習	
第7週 5/28 6/7	復習②：クエリとフォームの作成	実習	
第8週 6/10 6/11	レポートの作成ができる (入力・表示画面の作成)	実習	
第9週 6/17 6/18	復習③：クエリとレポートの作成	実習	
第10週 6/24 6/25	便利な機能(ピボットテーブルなど)が 作成できる	実習	
第11週 7/1 7/2	復習④：テキスト総合問題	実習	
第12週 7/8 7/9	復習⑤：プリント総合問題	実習	
第13週 7/15 7/16	最終課題①：オリジナルデータベースの作成	実習	
第14週 7/22 7/23	最終課題②：オリジナルデータベースの作成	実習	